



令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

学校名【 愛知県立蒲郡高等学校 】

1 実践テーマ	【 I・III・V 】
2 実施対象者	3年生 49名（男子33名 女子16名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ ニュースポーツ フィジカルフィットネス ）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	<p>(1) 東京オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高める。</p> <p>(2) パラリンピック種目であるボッチャを体験することで、障がい者スポーツへの理解を深め、生徒のインクルーシブな社会の構築に向けた態度を養う。</p>
5 取組内容	<p>(1) 【事前学習】</p> <p>① ワークシート オリンピック・パラリンピックの意義や歴史に関するワークシートを用いて、オリンピック・パラリンピックの基礎的な知識を理解した。 また、実際に体験する「ボッチャ」についてインターネット等を用いて、各自で調べ学習を行った。</p> <p>② 事前アンケート 「オリンピック・パラリンピックに興味があるか」、「オリンピック・パラリンピックに対するイメージはどのようなものか」など、アンケートを通してオリンピック・パラリンピックに対する意識調査を行った。</p> <p>(2) 【実践】（本校体育館）5・6限 13：30～15：20</p> <p>① 講義 ア オリンピック・パラリンピックの意義や歴史について イ ボッチャというスポーツについて</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

② 競技体験
ア タオルストレッチ



イ レクリエーションボッチャ



ウ 試合



③ 振り返り・お礼の言葉



(3) 【事後指導】

① 事後アンケート

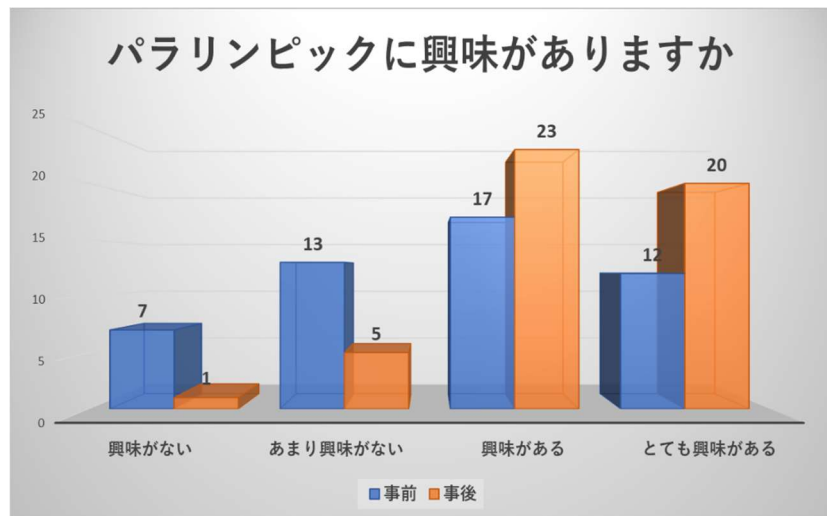
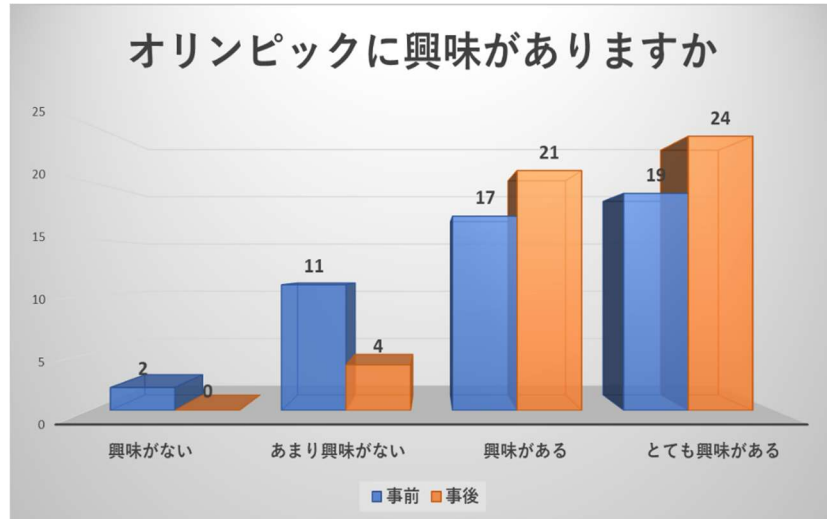
事前学習、実践を通してオリンピック・パラリンピックに対する意識の変化についてまとめる。

② ワークシート

講義やボッチャ体験を通して感じたことやオリンピック・パラリンピックについて考えたことをまとめる。

6 主な成果

【アンケート結果より】



今回のオリンピック・パラリンピック教育推進事業での事前学習やボッチャ体験を通して、オリンピック・パラリンピックに対する興味関心は高まった。また、本アンケートからは、「ボランティアや応援等で大会に参加したい」という意見や、「もしコロナウイルスがなく、観戦状況などが制限されていない大会であったら実際に観に行きたかった」といった意見が見られ、「観るスポーツ」だけでなく「支えるスポーツ」という視点を持つ生徒が増えたことがわかった。

【生徒の感想より】

〈ボッチャ体験を通して感じたこと〉

- 体が不自由な人でも参加できるスポーツがあってとてもいいなと思いました。ボッチャのことは何となく知っていたけど、今回初めて参加してみて難しく感じつつも楽しくできました。パラリンピック選手はどのようなプレーをするのか気になったので観てみたいと思いました。
- ボッチャをやる前は、すごくわかりやすく簡単なルールだから上手くできるだろうなと思っていました。でも、実際にやってみたらすごく難しく、1つ1つ考えて投げていかないと勝てないと知りました。ダニエルさんは投げるときに回転させたりしていたので、ボッチャにはいろいろな技があるのだと学びました。障がい者スポーツと言われているけど、普通のスポーツと変わらないなと感じました。
- 障がいがあるダニエルさんのほうが上手かったので、障がいのあるなしに関係なく、平等に公平にスポーツができることはすごいと思いました。正直、パラリンピックには全く興味がなかったけれど、ボッチャを体験してみて楽しかったのでテレビでやっていたら観たいと思いました。
- 今回の機会がなければボッチャという競技を知らないまま生きていたと思うので知れてよかったです。私の姉は足に障がいがあります。体育も今まで参加してきていません。みんなと一緒に運動したかったという言葉聞いたことがあるので、ボッチャを教えてあげたいです。

〈オリンピック・パラリンピックについて感じたこと〉

- オリンピック競技はテレビでよくやっていて、みんなが注目する大会だけど、パラリンピック競技はたまにニュースで見erkらいでオリンピックの陰に隠れるイメージがあります。僕も、前回大会はオリンピックだけ見てパラリンピックは見ませんでした。ですが、ボッチャをやったことにより、パラリンピックにも興味をもてました。パラリンピックの競技を体験したことがない人は、まだパラリンピックの魅力に気付いていないと思うので、みんなに体験してみしてほしいと思いました。
- パラリンピックの名前の由来などを知ることができました。今までパラリンピックについてあまり知らなかったけど、これをきっかけに他の競技も調べてみようと思いました。
- 改めて、国を代表して順位を争うオリンピック・パラリンピックの選手はさまざまな重圧の中で競技をされていてすごいなと感じました。
- 今回パラリンピックのことを詳しく知って感じたことは、スポーツに限らず、もっと障がいのある人々の自由が増えるといいなということです。また、学習する前は、パラリンピックは障害のある人たちがスポーツで競うということであまり面白くない大会という偏見をもっていました。ただ実際に体験する中で、とくにダニエルさんの活躍を見てそういった偏見をもつことはやめようと思えました。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> • 施設、対象生徒及び人数などを考慮して、老若男女問わず楽しむことができる「ボッチャ」を題材とした。 • 実践まで時間が限られていたので、事前学習でワークシートを準備し、生徒が自ら調べるという方法で「ボッチャ」に対する興味関心をもたせた。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 授業時数の確保が難しく、事前学習に時間を費やすことができなかった。 • 本校や講師等の都合もあり、今回は3年生49名のみでの活動になってしまったが、対象学年や対象生徒が拡大できればよりよかった。
9 来年度以降の実施予定	<p>毎年、体育理論を利用して、オリンピック・パラリンピックの授業を行っているが、特にパラリンピック競技に関しては道具等の関係からも実践は行えていなかったため、予算的な問題もあるが、できる範囲でパラリンピック競技を実践できるよう検討したい。</p>